

研究課題名	高齢者における小腸内視鏡検査中のプロポフォール鎮静に関する検討
研究の意義・目的	小腸内視鏡検査は小腸の病気を診断・治療するために重要で、高齢者の増加に伴いその需要は高まっています。しかし、手順が複雑で時間がかかるため、適切な鎮静が必要です。当院で行っているプロポフォール鎮静による小腸内視鏡検査が、高齢者にも安全で効果的であるかを調査することを目的とします。
研究を行う期間	機関の長の実施許可日～2029 年 3 月 31 日
研究協力をお願いしたい方 (対象者)	2017 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日までに大阪公立（市立）大学医学部附属病院で、ターゲット制御注入（TCI）ポンプと Bispectral index（BIS）モニターを併用してプロポフォール鎮静下に小腸内視鏡検査を受けられた方が対象となります。
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせて いただく試料・情報 等の項目	日常診療の過程で得られた下記のカルテ情報を本研究に使用させてください。 診療情報：年齢、性別、身長、体重、嗜好歴、基礎疾患、既往歴、常用薬、血液検査所見、画像所見（CT、MRI、PET）、内視鏡検査所見、内視鏡検査中の使用薬剤や生命徴候の値
試料・情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称	この研究は、公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科消化器内科学のみで行います。 【研究責任者】東森 啓
本研究の 利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力を したくない場合	診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学医学部附属病院 消化器内科外来 担当者氏名：東森 啓 電話番号：(06) 6645-2316 メールアドレス：higamo@omu.ac.jp